

富山県アイスホッケー連盟 新体制(2023-2025)における取り組みについて（理事長所信）

1 これまでの評価

富山県アイスホッケー連盟では、重点方針として「富山スタイル」の確立（①中長期ビジョンの浸透と意思統一、②ジュニアから成年までの一貫した強化体制、③全年代での競技者の拡大）を掲げ、これまで各部門、委員会において各種事業に取り組んできた。

その結果、第77回国民体育大会（2022.1）少年の部でベスト8（第39回国民体育大会成年の部（1984）予選出場以降、競技得点初獲得）、特別国民体育大会（2023.1）成年の部に6年ぶりに出場、ジュニア世代（小学生、中学生）では全国大会に選抜選手として参加、日ア連事業への連盟スタッフ派遣など、各カテゴリーにおいて一定の成果が出ているところである。

一方、少子化・コロナ禍の影響等による競技人口の減少、練習・遠征等の活動拠点の確保、主催（主管）大会の運営、新リンク建設に向けた体制整備、連盟スタッフの人材不足への対応など連盟として多くの課題を抱えており、今後とも事業の拡充や組織体制の強化等に取り組むことが必要である。

（各種事業・・・近年の取り組み）

- ・スケーティング理論に基づいた基礎スキル練習会（毎週開催）
- ・クロスアイスゲーム形式（ミニゴール整備）による大会開催
- ・近隣県参加によるジュニア交流アイスホッケー競技会の開催
- ・県民体育大会など連盟主催大会の運営委託
- ・各チームの普及事業（教室・体験会など）への助成・後援 など

2 新体制の取組方針（案）

①「富山スタイル」の確立に向けた取り組みを継続し、拡充する。

- ア. 将来を見据えた選手育成、上位カテゴリーへの輩出、一貫した指導体制の確立
- イ. 競技人口（連盟会員）の増加（活動拠点の確保、ニーズへの対応）

- ・普及、育成、強化事業を連携し、会員数の増加を図る。【現在の100人強から200人規模に】
- ・練習環境（県内大会、練習試合等）の充実を図る。
- ・新たな試みを推奨し、失敗を恐れずチャレンジする。

②新リンク完成を念頭に置いた体制づくり

- ア. ブロック大会等の開催（運営スタッフ、オフィシャルの育成）
- イ. 連盟理事、事務局を担う人材の充実・確保（自薦・他薦・公募、外部委託）
- ウ. 予算（財源）の確保（チーム支援、経費支出、スタッフ謝礼）

- ・連盟役員・スタッフの業務分担を進め、負担軽減を図る。
- ・新たな人材を確保し、新たな発想の創出を目指す。

以上